

## 人とメダカの元気な里地づくり (里地里山保全再生事業)

しらやま振興会 自然環境部 事務局 山口 喜久治

### 1. 地域づくりの方針・目的

#### 【はじめに】

福井県越前市白山(しらやま)地区は日本海よりに位置し、四方を山に囲まれたのどかで美しい自然が広がる農村です。主な特産物はお米とスイカで、特にスイカについては「しらやまスイカ」として京阪神地方に出荷されています。

私たちの地域では、昭和45年12月に「くちばしの折れたコウノトリ」が飛来し、小学校の児童会を中心に保護活動が行われ、翌年2月、捕獲され豊岡市に移送されました。その出来事は「くちばしのおれたコウノトリ」という絵本にもなりました。

また、白山地区には国内第1級の絶滅危惧種をはじめとして希少な野生生物が61種類生息していることが確認されています。また、国の重要湿地500選、県の重要湿地30選に選定され、昨年6月には環境省の「里地里山保全再生モデル事業」実施地域として全国4カ所のひとつにも選ばれました。

#### 【目標】

希少な野生生物が生息する自然環境を人の交流と協働により保全活用し、人も生き物も元気が出る里地里山を創る。

#### 【5つの基本方針】

- ①希少な野生生物が生息する自然環境の保全〔基盤の保全〕
- ②環境学習と自然体験〔活動の原動〕
- ③人材の育成〔人づくり〕
- ④地域外の人との交流と協働〔地域の活性化〕
- ⑤希少な野生生物の保全を付加価値とした商品や仕事づくり〔保全活用継続の糧〕

### 2. 取り組み内容

- ①基盤の保全
  - ・安養寺町さぎ草王国による希少種「さぎ草」の保護・増殖活動
  - ・集落単位での休耕田を活用したビオトープ造成活動
- ②活動の原動
  - ・地元小中学校による環境教育の推進  
〔ビオトープづくり・生き物調査・米づくり体験・ザリガニゲット大作戦など〕
  - ・ホタル観察会・川遊び・森で遊ぼう・コウノトリ「武生」一時里帰り事業 など
- ③人づくり
  - ・里地里山セミナーの開催〔年5回開催〕
  - ・希少野生生物保全監視員の養成
- ④地域の活性化
  - ・エコキャンプ〔都市と農村の交流〕の実施  
Aコース：8月 6日～ 8日 テーマ「ビオトープを創ってみよう！」  
Bコース：8月19日～21日 テーマ「溜池と里山の探検」
  - ・安養寺町さぎ草王国による「さぎ草展」の開催 8月6日～10日
  - ・市民参加の森づくり活動

### 3. 苦労点・達成度

- ① 地区外への情報発信。
- ② 地域住民の里地里山保全再生に対する意識向上を図ること。

### 4. 効果・反響

- ① エコキャンプやさぎ草展においては、県内外からの参加者に白山地区の豊かな自然を満喫してもらえ、リピーターが期待できること。

### 5. 今後の課題

- ① 里地里山の保全再生活動を通じ、地域の活性化(地域が潤うか)に結びつける為の仕組みづくり。〔エコキャンプ、地域産品のブランド化、販売ルートの確保〕
- ② 里地里山保全再生に対する地域住民の意識向上。〔受け入れ側の体制構築〕
- ③ 環境負担軽減に配慮した農業の定着。
- ④ 地域青年の参画を得ること。
- ⑤ 行政の支援を受けながら独自の生きる力をどう育むか。

# 人とメダカの元気な里地づくり (里地里山保全再生事業)



## はじめに

多くの希少種が生息する  
重要な里地

白山地区には国内第1級の絶滅危惧種をはじめとして、希少な野生生物が61種類生息していることが確認されています。また、国の重要湿地500選、県の重要湿地30選に選定され、昨年6月には環境省の「里地里山保全再生モデル事業」実施地域として全国4カ所の一つにも選ばれました。更に、今年3月には武生市里地里山地域再生計画が認定されました。

福井県越前市（10月に武生市と今立町が合併）白山（しらやま）地区は、四方を山に囲まれたのどかで美しい自然が広がる農村です。

昭和45年12月、「くちばしの折れたコウノトリ」が飛来し、小学校の児童会を中心に保護活動が行われ、翌年2月、捕獲され豊岡市に移送されました。その出来事は「くちばしのおれたコウノトリ」という絵本にもなりました。



## 目指す地域像とねらい

### 【目標】

希少な野生生物が生息する自然環境を人の交流と協働により保全活用し、人も生き物も元気が出る里地里山を創る。



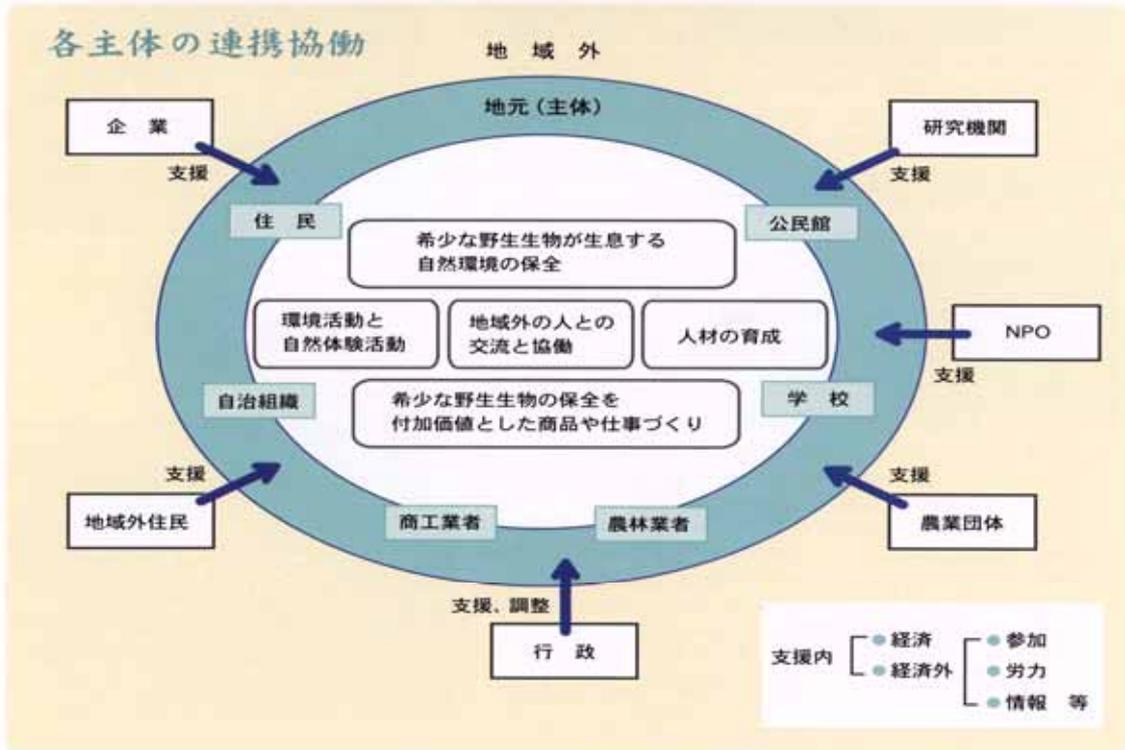
### 白山の希少種

### 【5つの基本方針】

- ①希少な野生生物が生息する自然環境の保全〔基盤の保全〕
- ②環境学習と自然体験〔活動の原動〕
- ③人材の育成〔人づくり〕
- ④地域外の人との交流と協働〔地域の活性化〕
- ⑤希少な野生生物の保全を付加価値とした商品や仕事づくり〔保全活用継続の糧〕



# 白山地区における協働体制



## 取り組み内容

### 基盤の保全



**安養寺町さぎ草王国による希少種「さぎ草」の保護・増殖活動**

**集落単位で休耕田を活用したビオトープ造成活動**  
 希少野生生物の生息場所を復元することを目的として、集落単位で田んぼのビオトープを造成中。

**福井大学によるビオトープ造成**  
 福井大学生と地元住民が休耕田にビオトープを造成し、どのような生き物が戻ってくるか研究中。

↑  
**大学との協働**

### 活動の原動



ほたる観察会



森で遊ぼう！（ネイチャーゲーム）

コウノトリ  
「武生」  
一時里帰り  
事業

白山小学校のビオトープづくり・米づくり体験には地元住民がゲストティーチャーとして



ビオトープづくり・米づくり体験



### 人づくり



#### 里地里山セミナーの開催

- 第1回「ビオトープを造ってみよう！」  
7月30日（土）
- 第2回「講演会」  
8月27日（土）  
演題：なんでいま里地里山なの  
講師：環境省 岡本光之 氏
- 第3回「白山の植物と野鳥観察会」  
8月28日（日）
- 第4回「実践！簡単な炭焼き窯づくり」  
11月13日（日）

#### 行政・NPOの協働

#### 希少野生生物保全監視員の養成

福井県の事業として、越前市西部地域（白山地区・坂口地区）を対象に実施。各集落より1名選任し、2年間で66名養成する計画。

- 7月23日 希少野生生物保全監視員講習会
- 11月27日 希少野生生物保全監視員講習会
- 12月18日 希少野生生物保全監視員講習会



